



福岡県医発第2703号（地）

平成27年1月7日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松田 峻一良

（公 印 省 略）

障害者総合支援法の対象となる難病等の見直しについて

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、難病患者等に配慮した障害程度区分の調査、認定につきましては、平成25年2月15日付け福岡県医発第2681号（地）にて貴会宛に通知したところ
です。

平成25年4月に施行された「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下、「障害者総合支援法」という。）」において、障害者の定義に新たに難病等が追加され、これまで当面の措置として130疾病が障害者総合支援法の対象とされているところですが、今般、「難病の患者に対する医療等に関する法律」及び「児童福祉法の一部を改正する法律」の成立に伴う指定難病及び小児慢性特定疾病の対象疾病に関する検討等を踏まえ、平成27年1月1日より、障害者総合支援法の対象となる難病等が151疾病に拡大されることとなりました。

これに伴い、今般、別添とおり、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長より、各都道府県等衛生主管部（局）長宛に障害者総合支援法の対象となる難病等の見直しに関する医療機関への周知について通知が出された旨、別添のとおり日本医師会より連絡が参りました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただくとともに、貴会管下関係医療機関への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、平成27年1月1日以降、障害福祉サービス等の申請に必要となる診断書や障害支援区分の認定に必要な医師意見書等の作成に際しましては、別紙にある疾病名を記載いただきますようご留意願います。

(地Ⅲ249)

平成26年12月25日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会常任理事
松本 純一
道永 麻里

障害者総合支援法の対象となる難病等の見直しについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、難病患者等に配慮した障害程度区分の調査、認定につきましては、平成25年1月29日付（地Ⅲ192）をもって貴会宛にお送り申し上げました。

平成25年4月に施行された「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下、「障害者総合支援法」という。）」において、障害者の定義に新たに難病等が追加され、これまで当面の措置として130疾病が障害者総合支援法の対象とされているところですが、今般、「難病の患者に対する医療等に関する法律」及び「児童福祉法の一部を改正する法律」の成立に伴う指定難病及び小児慢性特定疾病の対象疾病に関する検討等を踏まえ、平成27年1月1日より、障害者総合支援法の対象となる難病等が151疾病に拡大されることとなりました。

このようなことから、別添とおり、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長より、各都道府県等衛生主管部（局）長宛に障害者総合支援法の対象となる難病等の見直しに関する医療機関への周知について通知が出され、本会に対しても周知、協力方依頼がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、貴会管下郡市区医師会、及び関係医療機関への周知方よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

なお、平成27年1月1日以降、障害福祉サービス等の申請に必要な診断書や障害支援区分の認定に必要な医師意見書等の作成に際しましては、別紙にある疾病名を記載いただきますよう、ご留意のほどお願い申し上げます。

事 務 連 絡
平成 26 年 12 月 16 日

公益社団法人 日本医師会 御中

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課

障害者総合支援法の対象となる難病等の見直しに関する周知について

時下、貴会におかれましては益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素より厚生労働行政の運営に御理解、御協力いただき厚く御礼申し上げます。

標記については、指定難病の対象疾病の検討等を踏まえ、障害者総合支援法の対象となる難病等を平成 27 年 1 月 1 日より 130 疾病から 151 疾病に拡大することとしており、医療機関に対する周知について、別添のとおり平成 26 年 12 月 8 日付けで各都道府県・政令市・特別区の衛生主管部（局）長宛てに依頼しました。

貴会におかれましては、会員への周知についてご協力いただきますようお願い申し上げます。

【担当】

厚生労働省障害保健福祉部企画課

課長補佐 田中（内線 3019）

課長補佐 小牟禮（内線 3003）

係 長 青木（内線 3029）

TEL 03-5253-1111

FAX 03-3502-0892



障企発1208第2号

平成26年12月8日

都道府県
各政令市 衛生主管部（局）長 殿
特別区

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長



障害者総合支援法の対象となる難病等の見直しに関する医療機関への周知について

厚生労働行政の推進については、日頃よりご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

平成25年4月に施行された「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（平成17年法律第123号。以下「障害者総合支援法」という。）では、障害者の定義に新たに難病等を追加し、当面の措置として130疾病を障害者総合支援法の対象としているところです。

平成26年通常国会における「難病の患者に対する医療等に関する法律」（平成26年法律第50号）及び「児童福祉法の一部を改正する法律」（平成26年法律第47号）（いずれも平成27年1月1日施行）の成立に伴う指定難病及び小児慢性特定疾病の対象疾病の検討を踏まえ、障害者総合支援法対象疾病検討会を設置し、障害者総合支援法の対象となる難病等について検討を行っています。

検討会における議論に基づき、障害者総合支援法の対象となる難病等を平成27年1月1日より130疾病から151疾病に拡大することとし、そのための、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令（平成18年政令第10号）の一部改正等を12月中に公布、告示する予定です。

つきましては管内の医療機関等に対し、今回の改正の周知方お願い申し上げます（別紙をご活用ください）。

また、その際、事務手続きを円滑に進め、難病患者等に必要なサービスを速やかに受けただけ観点から、障害福祉サービス等の申請に必要な診断書や障害支援区分の認定に必要な医師意見書等の作成に当たっては、別紙にある疾病名を記載することについてご配慮いただけますよう、併せて、周知方お願い申し上げます。

なお、障害者総合支援法の対象となる疾病の範囲については、今後の指定難病の検討等を踏まえ、平成27年1月以降、障害者総合支援法対象疾病検討会において検討し、平成27年夏頃を目途に見直しを予定しているのでご承知願います。

(別紙)

平成27年1月からの障害者総合支援法の対象疾病一覧(151疾病)

1	IgA腎症	52	ゴナドトロピン分泌亢進症	102	TNF受容体関連周期性症候群
2	亜急性硬化性全脳炎	53	混合性結合組織病	103	天疱瘡
3	アジソン病	54	再生不良性貧血	104	特発性拡張型心筋症
4	アミロイドーシス	55	再発性多発軟骨炎	105	特発性間質性肺炎
5	ウルリッヒ病	56	サルコイドーシス	106	特発性基底核石灰化症
6	HTLV-1 関連脊髄症	57	シェーグレン症候群	107	特発性血小板減少性紫斑病
7	ADH分泌異常症	58	CFC症候群	108	特発性血栓症
8	遠位型ミオパチー	59	色素性乾皮症	109	特発性大腿骨頭壊死症
9	黄色靱帯骨化症	60	自己食空腔性ミオパチー	110	特発性門脈圧亢進症
10	潰瘍性大腸炎	61	自己免疫性肝炎	111	特発性両側性感音難聴
11	下垂体前葉機能低下症	62	自己免疫性溶血性貧血	112	突発性難聴
12	加齢性黄斑変性症	63	視神経症	113	難治性ネフローゼ症候群
13	肝外門脈閉塞症	64	若年性肺炎腫	114	膿疱性乾癬
14	関節リウマチ	65	シャルコー・マリー・トゥース病	115	囊胞性線維症
15	肝内結石症	66	重症筋無力症	116	パーキンソン病
16	偽性低アルドステロン症	67	シュワルツ・ヤンベル症候群	117	バージャー病
17	偽性副甲状腺機能低下症	68	神経性過食症	118	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症
18	球腎性筋萎縮症	69	神経性食欲不振症	119	肺動脈性肺高血圧症
19	急速進行性糸球体腎炎	70	神経線維腫症	120	肺胞低換気症候群
20	強皮症	71	神経有棘赤血球症	121	バッド・キアリ症候群
21	巨細胞性動脈炎	72	進行性核上性麻痺	122	ハンチントン病
22	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	73	進行性骨化性線維形成異常症	123	汎発性特発性骨増殖症
23	ギラン・バレー症候群	74	進行性多巣性白質脳症	124	肥大型心筋症
24	筋萎縮性側索硬化症	75	スティーヴンス・ジョンソン症候群	125	ビタミンD依存症二型
25	クッシング病	76	スモン	126	非典型性溶血性尿毒症症候群
26	クリオピリン関連周期熱症候群	77	正常圧水頭症	127	皮膚筋炎/多発性筋炎
27	グルココルチコイド抵抗症	78	成人スチル病	128	びまん性汎細気管支炎
28	クロウ・深瀬症候群	79	成長ホルモン分泌亢進症	129	肥満低換気症候群
29	クローン病	80	脊髄空洞症	130	表皮水疱症
30	結節性硬化症	81	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	131	フィッシャー症候群
31	結節性多発動脈炎	82	脊髄性筋萎縮症	132	封入体筋炎
32	血栓性血小板減少性紫斑病	83	全身型若年性特発性関節炎	133	ブラウ症候群
33	原発性アルドステロン症	84	全身性エリテマトーデス	134	プリオン病
34	原発性硬化性胆管炎	85	先天性QT延長症候群	135	PRL分泌亢進症(高プロラクチン血症)
35	原発性高脂血症	86	先天性魚鱗癬様紅皮症	136	バスレムミオパチー
36	原発性側索硬化症	87	先天性筋無力症候群	137	パーチェット病
37	原発性胆汁性肝硬変	88	先天性副腎低形成症	138	ペルオキシソーム病
38	原発性免疫不全症候群	89	先天性副腎皮質酵素欠損症	139	発作性夜間ヘモグロビン尿症
39	顕微鏡的多発血管炎	90	大脳皮質基底核変性症	140	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多発性運動ニューロパチー
40	硬化性萎縮性苔癬	91	高安静脈炎	141	慢性血栓性肺高血圧症
41	好酸球性筋膜炎	92	多系統萎縮症	142	慢性脾炎
42	好酸球性消化管疾患	93	多発血管炎性肉芽腫症	143	慢性特発性偽性腸閉塞症
43	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	94	多発性硬化症/視神経脊髄炎	144	ミトコンドリア病
44	後縦靱帯骨化症	95	多発性嚢胞腎	145	メニエール病
45	甲状腺ホルモン不応症	96	遅発性内リンパ水腫	146	網膜色素変性症
46	拘束型心筋症	97	チャーシ症候群	147	もやもや病
47	広範脊柱管狭窄症	98	中毒性表皮壊死症	148	ライソゾーム病
48	抗リン脂質抗体症候群	99	腸管神経節細胞減少症	149	ランゲルハンス細胞組織球症
49	コステロ症候群	100	TSH受容体異常症	150	リンパ管筋腫症
50	骨髄異形成症候群	101	TSH分泌亢進症	151	ルビンシュタイン・ティビ症候群
51	骨髄線維症				

■ 新たに対象となる疾病

白抜き: 対象に変更はないが
疾病名が変更されたもの

「劇症肝炎」「重症急性脾炎」については平成27年1月以降は対象外となりますが、すでに障害福祉サービスの支給決定を受けている方は引き続き利用可能です。

新旧対照表

番号 (旧)	平成25年4月1日～ 平成26年12月31日まで	番号 (新)	平成27年1月1日以降	
1	IgA腎症	1	IgA腎症	
2	亜急性硬化性全脳炎	2	亜急性硬化性全脳炎	
3	アジソン病	3	アジソン病	
4	アミロイド症	4	アミロイドーシス	変更
5	アレルギー性肉芽腫性血管炎	43	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	変更
6	ウェグナー肉芽腫症	93	多発血管炎性肉芽腫症	変更
		5	ウルリッヒ病	新規
7	HTLV-1関連脊髄症	6	HTLV-1関連脊髄症	
8	ADH不適分泌症候群	7	ADH分泌異常症	変更
		8	遠位型ミオパチー	新規
9	黄色靱帯骨化症	9	黄色靱帯骨化症	
10	潰瘍性大腸炎	10	潰瘍性大腸炎	
11	下垂体前葉機能低下症	11	下垂体前葉機能低下症	
12	加齢性黄斑変性症	12	加齢性黄斑変性症	
13	肝外門脈閉塞症	13	肝外門脈閉塞症	
14	関節リウマチ	14	関節リウマチ	
15	肝内結石症	15	肝内結石症	
16	偽性低アルドステロン症	16	偽性低アルドステロン症	
17	偽性副甲状腺機能低下症	17	偽性副甲状腺機能低下症	
18	球脊髄性筋萎縮症	18	球脊髄性筋萎縮症	
19	急速進行性糸球体腎炎	19	急速進行性糸球体腎炎	
20	強皮症	20	強皮症	
		22	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	新規
21	ギラン・バレー症候群	23	ギラン・バレー症候群	
22	筋萎縮性側索硬化症	24	筋萎縮性側索硬化症	
23	クッシング病	25	クッシング病	
24	グルココルチコイド抵抗症	27	グルココルチコイド抵抗症	
		26	クリオピリン関連周期熱症候群	新規
25	クロウ・深瀬症候群	28	クロウ・深瀬症候群	
26	クローン病	29	クローン病	
27	劇症肝炎			削除
28	結節性硬化症	30	結節性硬化症	
		31	結節性多発動脈炎	変更
29	結節性動脈周囲炎	39	顕微鏡的多発血管炎	変更
30	血栓性血小板減少性紫斑病	32	血栓性血小板減少性紫斑病	
31	原発性アルドステロン症	33	原発性アルドステロン症	
32	原発性硬化性胆管炎	34	原発性硬化性胆管炎	
33	原発性高脂血症	35	原発性高脂血症	
34	原発性側索硬化症	36	原発性側索硬化症	
35	原発性胆汁性肝硬変	37	原発性胆汁性肝硬変	
36	原発性免疫不全症候群	38	原発性免疫不全症候群	
37	硬化性萎縮性苔癬	40	硬化性萎縮性苔癬	
38	好酸球性筋膜炎	41	好酸球性筋膜炎	
		42	好酸球性消化管疾患	新規
39	後縦靱帯骨化症	44	後縦靱帯骨化症	
40	拘束型心筋症	46	拘束型心筋症	
41	広範脊柱管狭窄症	47	広範脊柱管狭窄症	
42	高プロラクチン血症	135	PRL分泌亢進症 (高プロラクチン血症)	変更
43	抗リン脂質抗体症候群	48	抗リン脂質抗体症候群	
		49	コステロ症候群	新規
44	骨髄異形成症候群	50	骨髄異形成症候群	
45	骨髄線維症	51	骨髄線維症	
46	ゴナドトロピン分泌過剰症	52	ゴナドトロピン分泌亢進症	変更
47	混合性結合組織病	53	混合性結合組織病	
48	再生不良性貧血	54	再生不良性貧血	
		55	再発性多発軟骨炎	新規
49	サルコイドーシス	56	サルコイドーシス	
50	シェーグレン症候群	57	シェーグレン症候群	
		58	CFC症候群	新規
51	色素性乾皮症	59	色素性乾皮症	
		60	自己食空胞性ミオパチー	新規
52	自己免疫性肝炎	61	自己免疫性肝炎	
53	自己免疫性溶血性貧血	62	自己免疫性溶血性貧血	
54	視神経症	63	視神経症	
55	若年性肺気腫	64	若年性肺気腫	
56	重症急性膵炎			削除
		65	シャルコー・マリー・トゥース病	新規
57	重症筋無力症	66	重症筋無力症	
		67	シュワルツ・ヤンベル症候群	新規
58	神経性過食症	68	神経性過食症	
59	神経性食欲不振症	69	神経性食欲不振症	
60	神経線維腫症	70	神経線維腫症	
61	進行性核上性麻痺	72	進行性核上性麻痺	
62	進行性骨化性線維形成異常症	73	進行性骨化性線維形成異常症	
63	進行性多巣性白質脳症	74	進行性多巣性白質脳症	
64	スティーヴンス・ジョンソン症候群	75	スティーヴンス・ジョンソン症候群	
65	スモン	76	スモン	

新旧対照表

番号 (旧)	平成25年4月1日～ 平成26年12月31日まで	番号 (新)	平成27年1月1日以降	
66	正常圧水頭症	77	正常圧水頭症	
67	成人スチル病	78	成人スチル病	
68	腎臓空洞症	80	腎臓空洞症	
69	腎臓小脳変性症	81	腎臓小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	変更
70	腎臓性筋萎縮症	82	腎臓性筋萎縮症	
		83	全身型若年性特発性関節炎	新規
71	全身性エリテマトーデス	84	全身性エリテマトーデス	
72	先端巨大症	79	成長ホルモン分泌亢進症	変更
73	先天性QT延長症候群	85	先天性QT延長症候群	
74	先天性魚鱗癬様紅皮症	86	先天性魚鱗癬様紅皮症	
		87	先天性筋無力症候群	新規
		88	先天性副腎低形成症	新規
75	先天性副腎皮質酵素欠損症	89	先天性副腎皮質酵素欠損症	
76	側頭動脈炎	21	巨細胞性動脈炎	変更
77	大動脈炎症候群	91	高安動脈炎	変更
78	大脳皮質基底核変性症	90	大脳皮質基底核変性症	
79	多系統萎縮症	92	多系統萎縮症	
80	多巣性運動ニューロパチー	140	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	変更
81	多発筋炎	127	皮膚筋炎/多発性筋炎	変更
82	多発性硬化症	94	多発性硬化症/視神経脊髄炎	変更
83	多発性嚢胞腎	95	多発性嚢胞腎	
84	遅発性内リンパ水腫	96	遅発性内リンパ水腫	
		97	チャーシ症候群	新規
85	中枢性尿崩症	7	ADH分泌異常症	変更
86	中毒性表皮壊死症	98	中毒性表皮壊死症	
		99	腸管神経節細胞減少症	新規
87	TSH産生下垂体腺腫	101	TSH分泌亢進症	変更
88	TSH受容体異常症	100	TSH受容体異常症	
		102	TNF受容体関連周期性症候群	新規
89	天疱瘡	103	天疱瘡	
90	特発性拡張型心筋症	104	特発性拡張型心筋症	
91	特発性間質性肺炎	105	特発性間質性肺炎	
		106	特発性基底核石灰化症	新規
92	特発性血小板減少性紫斑病	107	特発性血小板減少性紫斑病	
93	特発性血栓症	108	特発性血栓症	
94	特発性大腿骨頭壊死	109	特発性大腿骨頭壊死症	変更
95	特発性門脈圧亢進症	110	特発性門脈圧亢進症	
96	特発性両側性感音難聴	111	特発性両側性感音難聴	
97	突発性難聴	112	突発性難聴	
98	難治性ネフローゼ症候群	113	難治性ネフローゼ症候群	
99	膿疱性乾癬	114	膿疱性乾癬	
100	嚢胞性線維症	115	嚢胞性線維症	
101	パーキンソン病	116	パーキンソン病	
102	パーシャ病	117	パーシャ病	
		118	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	新規
103	肺動脈性肺高血圧症	119	肺動脈性肺高血圧症	
104	肺泡低換気症候群	120	肺泡低換気症候群	
105	バッド・キアリ症候群	121	バッド・キアリ症候群	
106	ハンチントン病	122	ハンチントン病	
107	汎発性特発性骨増殖症	123	汎発性特発性骨増殖症	
108	肥大型心筋症	124	肥大型心筋症	
109	ビタミンD依存症二型	125	ビタミンD依存症二型	
		126	非典型溶血性尿毒症症候群	新規
110	皮膚筋炎	127	皮膚筋炎/多発性筋炎	変更
111	びまん性汎細気管支炎	128	びまん性汎細気管支炎	
112	肥満低換気症候群	129	肥満低換気症候群	
113	表皮水疱症	130	表皮水疱症	
114	フィッシャー症候群	131	フィッシャー症候群	
		132	封入体筋炎	新規
		133	ブラウ症候群	新規
115	プリオン病	134	プリオン病	
		136	ベスレムミオパチー	新規
116	パーチェット病	137	パーチェット病	
117	ペルオキシソーム病	138	ペルオキシソーム病	
118	発作性夜間ヘモグロビン尿症	139	発作性夜間ヘモグロビン尿症	
119	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	140	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	変更
120	慢性血栓性肺高血圧症	141	慢性血栓性肺高血圧症	
121	慢性膀胱炎	142	慢性膀胱炎	
		143	慢性特発性偽性腸閉塞症	新規
122	ミトコンドリア病	144	ミトコンドリア病	
123	メニエール病	145	メニエール病	
124	網膜色素変性症	146	網膜色素変性症	
125	もやもや病	147	もやもや病	
126	有棘赤血球症	71	神経有棘赤血球症	変更
127	ランゲルハンス細胞組織球症	149	ランゲルハンス細胞組織球症	
128	リソソーム病	148	ライソソーム病	変更
129	リンパ管筋腫症	150	リンパ管筋腫症	変更
		151	ルビンシュタイン・テイビ症候群	新規
130	レフトフ症候群	45	甲状腺ホルモン不応症	変更

事 務 連 絡

平成26年12月8日

都道府県
各 政 令 市 衛生関係主管課 御中
特 別 区

厚生労働省健康局疾病対策課
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課

障害者総合支援法の対象となる難病等の見直しに関する医療機関への周知について

厚生労働行政の推進については、日頃よりご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

標記については、別添のとおり「障害者総合支援法の対象となる難病等の見直しに関する医療機関への周知について」（平成26年12月8日障企発1208第2号 都道府県・政令市・特別区衛生主管部（局）長宛 社会・援護局障害保健福祉部企画課長通知）を発出致しましたので、管内の医療機関への周知について、よろしくお願い申し上げます。

なお、参考として周知用リーフレットを添付しておりますので、適宜ご活用下さい。

健康局疾病対策課難病企画係

難病医療係

難病調査研究係

TEL 03-5253-1111(代) 内線 2355、2356

FAX 03-3502-0892

社会・援護局障害保健福祉部企画課

人材養成・障害認定係

TEL 03-5253-1111(代) 内線 3029

FAX 03-3502-0892

平成27年1月1日から

「障害者総合支援法」の対象となる 疾病を151に拡大します

平成27年1月1日から「障害福祉サービス等^{※1}」の対象となる疾病が、130から151へ拡大されます。

対象となる方は、障害者手帳^{※2}をお持ちでなくても、必要と認められた支援が受けられます。

※1 障害者・障害児は、障害福祉サービス・相談支援・補装具及び地域生活支援事業（障害児は、障害児通所支援と障害児入所支援も含む）

※2 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳

対象となる方

対象疾病に該当する方（裏面参照）



手続き

- ◆対象疾病に罹患^{りかん}していることがわかる証明書（診断書など）を持参し、お住まいの市区町村の担当窓口にてサービスの利用を申請してください。
- ◆障害支援区分の認定や支給決定などの手続き後、必要と認められたサービスを利用できます。
（訓練系・就労系サービス等は障害支援区分の認定を受ける必要はありません）
- ◆詳しい手続き方法については、お住まいの市区町村の担当窓口にお問い合わせください。

平成27年 1月からの障害者総合支援法の対象疾病一覧（151疾病）

1	IgA腎症	52	ゴナドトロピン分泌亢進症	102	TNF受容体関連周期性症候群
2	亜急性硬化性全脳炎	53	混合性結合組織病	103	天疱瘡
3	アジソン病	54	再生不良性貧血	104	特発性拡張型心筋症
4	アミロイドーシス	55	再発性多発軟骨炎	105	特発性間質性肺炎
5	ウルリッヒ病	56	サルコイドーシス	106	特発性基底核石灰化症
6	HTLV-1 関連脊髄症	57	シェーグレン症候群	107	特発性血小板減少性紫斑病
7	ADH分泌異常症	58	CFC症候群	108	特発性血栓症
8	遠位型ミオパチー	59	色素性乾皮症	109	特発性大腿骨頭壊死症
9	黄色靱帯骨化症	60	自己貪食空胞性ミオパチー	110	特発性門脈圧亢進症
10	潰瘍性大腸炎	61	自己免疫性肝炎	111	特発性両側性感音難聴
11	下垂体前葉機能低下症	62	自己免疫性溶血性貧血	112	突発性難聴
12	加齢性黄斑変性症	63	視神経症	113	難治性ネフローゼ症候群
13	肝外門脈閉塞症	64	若年性肺気腫	114	膿疱性乾癬
14	関節リウマチ	65	シャルコー・マリー・トゥース病	115	嚢胞性線維症
15	肝内結石症	66	重症筋無力症	116	パーキンソン病
16	偽性低アルドステロン症	67	シュワルツ・ヤンペル症候群	117	パージャール病
17	偽性副甲状腺機能低下症	68	神経性過食症	118	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症
18	球脊髄性筋萎縮症	69	神経性食欲不振症	119	肺動脈性肺高血圧症
19	急速進行性糸球体腎炎	70	神経線維腫症	120	肺泡低換気症候群
20	強皮症	71	神経有棘赤血球症	121	バッド・キアリ症候群
21	巨細胞性動脈炎	72	進行性核上性麻痺	122	ハンチントン病
22	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	73	進行性骨化性線維形成異常症	123	汎発性特発性骨増殖症
23	ギラン・バレー症候群	74	進行性多巣性白質脳症	124	肥大型心筋症
24	筋萎縮性側索硬化症	75	ステューヴンス・ジョンソン症候群	125	ビタミンD依存症二型
25	クッシング病	76	スモン	126	非典型性溶血性尿毒症症候群
26	クリオピリン関連周期熱症候群	77	正常圧水頭症	127	皮膚筋炎／多発性筋炎
27	グルココルチコイド抵抗症	78	成人スチル病	128	びまん性汎細気管支炎
28	クロウ・深瀬症候群	79	成長ホルモン分泌亢進症	129	肥満低換気症候群
29	クローン病	80	脊髄空洞症	130	表皮水疱症
30	結節性硬化症	81	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	131	フィッシャー症候群
31	結節性多発動脈炎	82	脊髄性筋萎縮症	132	封入体筋炎
32	血栓性血小板減少性紫斑病	83	全身型若年性特発性関節炎	133	ブラウ症候群
33	原発性アルドステロン症	84	全身性エリテマトーデス	134	プリオン病
34	原発性硬化性胆管炎	85	先天性QT延長症候群	135	PRL分泌亢進症（高プロラクチン血症）
35	原発性高脂血症	86	先天性魚鱗癬様紅皮症	136	ベスレムミオパチー
36	原発性側索硬化症	87	先天性筋無力症候群	137	ベーチェット病
37	原発性胆汁性肝硬変	88	先天性副腎低形成症	138	ペルオキシソーム病
38	原発性免疫不全症候群	89	先天性副腎皮質酵素欠損症	139	発作性夜間ヘモグロビン尿症
39	顕微鏡的多発血管炎	90	大脳皮質基底核変性症	140	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー
40	硬化性萎縮性苔癬	91	高安動脈炎	141	慢性血栓性肺高血圧症
41	好酸球性筋膜炎	92	多系統萎縮症	142	慢性脾炎
42	好酸球性消化管疾患	93	多発血管炎性肉芽腫症	143	慢性特発性偽性腸閉塞症
43	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	94	多発性硬化症／視神経脊髄炎	144	ミトコンドリア病
44	後縦靱帯骨化症	95	多発性嚢胞腎	145	メニエール病
45	甲状腺ホルモン不応症	96	遅発性内リンパ水腫	146	網膜色素変性症
46	拘束型心筋症	97	チャージ症候群	147	もやもや病
47	広範脊柱管狭窄症	98	中毒性表皮壊死症	148	ライソゾーム病
48	抗リン脂質抗体症候群	99	腸管神経節細胞減少症	149	ランゲルハンス細胞組織球症
49	コステロ症候群	100	TSH受容体異常症	150	リンパ脈管筋腫症
50	骨髄異形成症候群	101	TSH分泌亢進症	151	ルビンシュタイン・ティビ症候群
51	骨髄線維症				

5 新たに対象となる疾病
7 対象に変更はないが疾病名が変更されたもの

「劇症肝炎」「重症急性脾炎」については平成27年1月以降は対象外ですが、すでに障害福祉サービスの支給決定を受けている方は引き続き利用可能です。詳細は、お住まいの市区町村窓口にお問い合わせください。